

令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	地域戦略課、地域政策課、官民連携推進室		
施策名	地域政策の推進			施策コード	0215		
政策体系(中項目)	連携・協働・交流による未来に向けた地域づくり			政策体系コード	3(6)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画					事務事業数	37
SDGs				総合判定	やや遅れている		
予算額(千円)	R 4	5,366,934	R 3	5,108,182	R 2	5,126,667	

施策目標	本道各地域の特性や豊かな資源を活かし、地域づくりの拠点である振興局と市町村が一体となって、道民、企業、大学、NPOなどの多様な主体と連携・協働した地域づくりを推進する。民間企業との連携協定等による協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取組を推進する。	
現状と課題	本道では、人口減少や少子高齢化の進行により、地域の経済や暮らしなど様々な分野で影響が懸念されている。こうした地域を取り巻く厳しい状況を踏まえ、地域の特性や資源、強みを活かし、民間の知恵と力の積極的な活用や市町村等との連携により、地域振興を効果的に推進していくことが必要である。	
前年度二次評価意見		対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 地域の創生、人口減少問題への対応として、地域の振興に向けた取組を着実に推進するため、ワーケーションによる関係人口の創出・拡大や、日本遺産、恐竜・化石等の地域資源の魅力を活かした取組などを推進 「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体と連携した取組の実施など、官民連携を推進 各振興局において事業の企画・立案及び市町村等へ資金・情報・人などの多面的な支援をすることで、多様な主体による地域活性化に向けた取組を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 人口の社会増減に関し、国内移動のみに着目してみると、本道全体では、R2(▲1,316)からR3(▲2,025)で減少幅が増加しているが、社会増となった市町村数は、R2(24団体)からR3(33団体)で増加している。 企業を対象とした「ほっかいどう応援セミナー」(知事・市町村長によるトップセールス)を開催 R4.3.29、オンライン(Zoom配信) 個人の応援団会員(道ファン子)の参加ツールとして公式SNS(LINE・facebook)を運営 応援団企業と市町村との繋がりを創出し、支援の獲得やノウハウの活用に結びつけることを目的に、「オンラインmeetアップ」を開催(R3.4.28 14市町村参加、R3.8.4 10市町村参加、R3.9.2 28市町村参加)。 振興局が地域と連携・協働のもと人口減少や少子高齢化対策など地域課題の解決に向けて取り組む地域政策推進関連事業を実施した。 地域づくり総合交付金などにより、市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化にむけた取組を支援した。

連携状況	<ul style="list-style-type: none"> 知事を本部長とし、各部長級で構成する「人口減少問題対策本部」のほか、道内各界の代表者等による北海道創生協議会において、人口減少問題対策の総合的な企画、調整及び推進を図っている。また、全国水準を下回る出生率や道外への転出超過などの課題に対し、自然減と社会減への対策の両面から、より一体的かつ実効性ある取組を行うため、札幌市と協議会を開催し、取組を推進している。 ほっかいどう応援団会議などのネットワークを活用し、企業等との連携・協働を進めた。
緊急性優先性	<ul style="list-style-type: none"> コロナ下において、地方移住への関心は高まりを見せており(全年齢・東京圏在住者 R1.12:25.1%⇒R4.6:34.2%)、この機を逃さず、本道へのひとの流れを創出するよう、取組を進める必要がある。 このため、国に対し、地方創生の着実な推進のための財源確保のほか、東京一極集中是正に向け、取組の一層の充実強化を図るよう、要望を実施(R4.5)。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
----------------------	------------	---------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	人	H30年度	R1年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
本道からの転出超過数(暦年)	目標値		—	4,000	3,000	0	83.3%	C
	実績値		3,715	2,331	3,600	—		

設定理由 本道各地域の個性と魅力を活かした地域づくりを進めることにより、転出超過の状況を解消することを目標として指標を設定

分析（主な取組と成果）

R元日本人転入：240,272、転出：248,179 外国人転入：22,708、転出：17,132
 転入：262,980、転出：265,311 転出超過数：2,331
 R2日本人転入：235,925、転出：235,837 外国人転入：11,776、転出：15,464
 転入：247,701、転出：251,301 転出超過数：3,600
 令和2年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による密を避ける意識や地方への関心の高まりなどを背景に転出が大きく抑制されている一方、これまで順調に増加していた外国人については、技能実習生の帰国や入国制限により大幅に減少したことにより、全体として3,600人の転出超過となった。
 ※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価（R3年度実績値：4,819人（R4.8月公表）

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	C	総合判定	やや遅れている
-------------	---	---------------	---	-------------	---	-------------	---------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	本道からの転出超過数の解消に向け、コロナ禍で生じた地方への関心の高まりや行動変容を捉え、道内への定着と道外からの呼び込みの両面から取組を進めていく。
	②	あらゆる機会を通じて応援団会議への参加を働きかけ、更なるネットワークの拡大を図るとともに、幅広い手法を通じて支援をいただけるよう、企業版ふるさと納税制度の趣旨や支援を求めるプロジェクトについて、企業等へ直接説明・提案するなど、市町村を含めた官民連携の取組を一層推進する。
	③	引き続き、振興局が地域と連携・協働のもと地域課題の解決に向けて地域政策を推進する。

令和4年度 基本評価調書③	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
---------------	-----	---------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、個性と魅力を活かし様々な連携で進める地域づくりのため、コロナ下において高まっている地方移住への関心を捉えた取組や、地域の特性や資源・強みを活かし、民間の知恵と力の積極的な活用や市町村等との連携により、地域振興を効果的に推進していくことが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	---

二次政策 評価への 対応	市町村・関係団体と連携した受入体制強化のための勉強会や首都圏等でのPRを積極的に実施するほか、地域おこし協力隊をはじめとした地域の活性化を担う人材の確保及び研修会・交流会といった定住・定着に向けた支援の充実・強化を図ることなどにより、地方への人の流れを作り出し、地域力を強化していく。		
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	本道からの転出超過数の解消に向け、コロナ禍で生じた地方への関心の高まりや行動変容を捉え、豊かな自然や食を生かしたワーケーションの推進、首都圏の若年層・子育て世代に重点を置いた移住定住の促進など、道内への定着と道外からの呼び込みの両面から取組を進めていく。	<p>新規：</p> <p>①Connect北海道推進事業</p> <p>②北海道型ワーケーション推進事業</p> <p>③北海道移住促進プロモーション事業</p>
	②	体制を強化し、積極的な企業訪問などを通じて、企業ニーズの収集や道・市町村とのマッチングに努めるほか、市町村と地域おこし協力隊が行う取組に関し、企業等との新たな連携の創出を促進する。	<p>拡充：ほっかいどう応援団会議運営事業費</p>
③	<ul style="list-style-type: none"> ・本道各地域の特性や豊かな資源を活かし、地域づくりの拠点である振興局と市町村が一体となって、道民、企業、大学、NPOなどの多様な主体と連携・協働した地域づくりを推進する。 ・民間企業との連携協定等による協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取組を推進する。 	<p>新規：</p> <p>①地域共創推進事業</p> <p>②地域資源を活用した魅力体験創出事業</p> <p>拡充：</p> <p>地域政策推進事業</p>	
R5新規事業数	5		

令和4年度 補助指標調書	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
--------------	-----	---------	-------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	件	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「ほっかいどう応援団会議」を通じて実現した官民連携による取組数		目標値	-	100	100	100	132.0%	A
		実績値	51	150	132			
設定理由	官民連携の推進のため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体との連携による取組を確実に実施することを目標として指標を設定（新規の取組年間100件（市町村への応援も含む））							
分析（主な取組と成果）								
「ほっかいどう応援団会議」を通じた連携、ポータルサイト等による情報発信を実施。新型コロナウイルスの影響で社会貢献の意識が高まったこともあり、参加企業からの支援や協働活動の幅が広がった結果、目標を達成した。								

補助指標名②	増加	企業・団体数	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「ほっかいどう応援団会議」の参加企業・団体数		目標値	-	332	511	※	99.0%	B
		実績値	302	464	506			
設定理由	官民連携の更なる推進を図るため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体数の拡大を目標として指標を設定（※前年度末の参加企業数の1割増）							
分析（主な取組と成果）								
ほっかいどう応援セミナーを開催（オンライン(R4.3.29)、ポータルサイト、公式LINE・Facebookによる情報発信）。新型コロナウイルスの影響で社会貢献の意識が高まったこともあり、関わりや支援を得られる機会が増加し、目標値をおおむね達成できた。								

補助指標名③	増加	件	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
ほっかいどう応援団会議のウェブサイトアクセス数		目標値	-	50万以上	50万以上	250万以上	45.1%	D
		実績値	-	381,012	225,381			
設定理由	官民連携の推進のため、「ほっかいどう応援団会議」参加企業・団体との連携による取組を確実に実施することを目標として指標を設定（サイトアクセス数 50万アクセス/年）							
分析（主な取組と成果）								
個人の応援団会員（道ファン子）の参加ツールとして公式LINE・Facebookを運営し、サイトへの誘導を実施。SNSからの誘導により、一定程度のアクセス数が得られたが、今後のアクセス数の増加に向けて、掲載コンテンツの充実に努める。								

補助指標名④	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
全道ネットワークへの参加を契機とする地域づくりに向けた取組の件数		目標値	-	30	40	60	112.5%	A
		実績値	-	11	45			
設定理由	道内各地で意欲的に地域づくりにチャレンジしている方々を支援し、業種や地域を越えた重層的なネットワークづくりを通じ、地域が抱える課題の解決や特性を活かした地域づくりを推進する取組を成果として指標を設定							
分析（主な取組と成果）								
全（総合）振興局にて「振興局版チャレンジピッチ」及び全道において「オールほっかいどうチャレンジピッチ」を開催し、地域づくりチャレンジャー間の連携の深化や取組に関心のある関係者とのつながりによる取組の展開などにより目標値を達成できた。								

令和4年度 補助指標調書	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
---------------------	------------	---------	--------------	------

補助指標名⑤	増加	市町村	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
札幌市が持つ都市機能を活用した取組を行う市町村数	目標値		-	36	72	178	188.0%	A
	実績値		-	137	136			

設定理由 札幌市との連携による人口減少対策共同プログラムの更なる推進のため、札幌市を除く178市町村で札幌市が持つ都市機能を活用した取組を行ってもらうことを目標として指標を設定

分析（主な取組と成果）

令和3年度の目標は達成、コロナ禍の下、イベントの中止や縮小などにより、横ばいで推移しているものの札幌市の都市機能の活用は、道内市町村の人口減少対策に有効であることから、引き続き、目標の達成に向け、道内市町村による札幌市の都市機能を活用した取組を促進する。

補助指標名⑥	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
関係人口をつなぐ仕組みを通じたマッチング件数	目標値		-	900	1,200	1,500	-	-
	実績値		-	-	-			

設定理由 札幌市民等を道内地域の関係人口として地域創生に継続的に関わる仕組みを構築するための地域におけるイベントの参加者数やウェブサイトのマッチング機能の利用者数等を目標として指標を設定

分析（主な取組と成果）

令和2、3年度についてはコロナ禍により、実際に地域に訪れることに制約がある中、地域でのイベントの開催や、関係人口としてのマッチングには至っていないものの、オンラインイベントの開催により気運の醸成は一定程度、図られたものと考えている。

補助指標名⑦	増加	千人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」構成自治体の関係施設への入込客数	目標値		81	84	166	183	60.2%	D
	実績値		81	89	100			

設定理由 歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定

分析（主な取組と成果）

外出や観光の自粛・制限、施設の閉鎖など新型コロナウイルス感染症の影響要因と考えられる。
※達成率はR4.7.1時点で判明している数値で評価（R3年度実績値 113千人（R4.9月集計））

補助指標名⑧	増加	千人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
ジオパーク構成市町村への観光入込客数	目標値		21,051	21,633	22,298	24,792	48.5%	D
	実績値		21,051	20,277	10,820			

設定理由 歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定

分析（主な取組と成果）

外出や観光の自粛・制限、施設の閉鎖など新型コロナウイルス感染症の影響要因と考えられる。
※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価（R3年度実績値 10,439千人（R4.9月公表））

令和4年度 補助指標調書	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
---------------------	------------	---------	--------------	------

補助指標名⑨	増加	千人	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
日本遺産構成市町村への観光入込客数	目標値		38,952	40,099	55,863	61,715	45.2%	D
	実績値		38,952	36,195	25,244			

設定理由 歴史・文化・学術的価値の高い地域資源の魅力を活かした地域振興を図るため、目標として標記指標を設定

分析（主な取組と成果）

外出や観光の自粛・制限、施設の閉鎖など新型コロナウイルス感染症の影響要因と考えられる。
※達成率はR4.7.1時点で公表されている数値で評価（R3年度実績値 26,194千人（R4.9月公表））

補助指標名⑩	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
北海道の移住・定住情報を発信するサイトのアクセス数	目標値		300,000	309,000	309,000	311,000	141.4%	A
	実績値		296,785	309,508	436,853			

設定理由 第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「移住・定住の促進」の観点から、移住の契機となる取組を指標として設定。

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症をきっかけとした移住関心層の目を向けさせるため、オンラインで参加できるイベント情報の積極的な発信や、首都圏の若年層に絞ったターゲティング広告といったプロモーションの強化などにより目標を達成した。

補助指標名⑪	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
関係人口創出・拡大のための首都圏等での交流イベント参加者数	目標値		-	580	620	740	95.6%	B
	実績値		-	348	593			

設定理由 第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症への対策を講じた上で、首都圏等での関係人口創出・拡大のためのイベントや、若者等を対象とした本道の魅力を感じ地域への関心を高めるためのイベントを全てオンラインでの参加も可能として開催したことにより、目標値に近い参加者数となった。

補助指標名⑫	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
北海道に興味・関心のある首都圏等の若者等のSNS参加者数	目標値		-	750	900	1,350	224.8%	A
	実績値		709	1,013	2,023			

設定理由 第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。

分析（主な取組と成果）

首都圏等の若者等を対象とした交流イベントを実施し、参加者に対し積極的にSNSを活用した北海道とつながるネットワークへの参加を促したことや、北海道暮らしの魅力を伝える動画を集めたサイトを開設したことなどにより、SNS参加者数の増加及び交流づくりの機会拡大が図られた。

令和4年度 補助指標調書	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
---------------------	------------	---------	--------------	------

補助指標名⑬	増加	人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
テレワーク施設等を利用してワーケーションを行った人数(延べ人数)	目標値		—	—	19,700	66,600	114.1%	A
	実績値		—	13,743	22,479			

設定理由 第2期総合戦略の「北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会」の主な施策「関係人口の創出・拡大」の観点から、関係人口拡大の契機となる取組を指標として設定。

分析(主な取組と成果)

ポータルサイトを通じた企業等と受入市町村とのマッチングや、普及イベントにおけるPR等、オール北海道での促進の取組により、道内においてはワーケーション実施者が増加している。

補助指標名⑭	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
「ふるさと移住定住推進センター」の年間相談件数	目標値		1,570	1,520	1,530	1,570	84.1%	C
	実績値		1,610	1,526	1,287			

設定理由 総合計画の政策の方向性「居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進」の観点から、移住の契機となる取組を指標として設定。

分析(主な取組と成果)

新型コロナウイルス感染症により、移住イベントなどの対面イベントの中止により目標値を下回ったものの、地方への関心の高まりを捉え、オンラインによる相談・セミナーを積極的に活用したことにより、オンラインでの件数は微増した。

補助指標名⑮			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

補助指標名⑯			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析(主な取組と成果)

令和4年度 事務事業評価調書			施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
----------------	--	--	-----	---------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
1301	0209	事務	総合調整等業務	職員の服務・研修、道議会事務、文書事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び各種会議、関与団体、後援依頼に関する事務	地域戦略課	0	0	0	4.5	2.6	7.1	55,266					
1302	0209	一般	地方創生対策推進費(「北海道創生総合戦略」推進事業費)	「北海道創生総合戦略」について、実施状況を検証し、必要に応じて見直すPDCAサイクルを確立することにより実効性ある推進を図る。	地域戦略課	0	4,041	4,041	2.2	2.2	4.4	38,291	①	改善(指標分析)		改善	
1314	0209	一般	地方創生対策推進費(関係人口創出・拡大事業)(創生交付金)	札幌市民をメインターゲットに、地域への興味や関心を持つ「きっかけ」づくりを提供し、「道内の関係人口」の創出・拡大に向け、地域に興味を持つ層の拡大を図る。	地域戦略課	0	8,014	4,007	1.3	0.8	2.1	24,360	①	改善(指標分析)		終了	
1307	-	一般	地域政策推進事業費	振興局が地域との連携・協働のもと、地域課題の解決に向けた取組を実施する。	地域戦略課	0	278,125	137,580	1.6	5.6	7.2	334,170	③	改善(指標分析)		改善	
1308	0209	一般	地方創生対策推進費(札幌市連携促進費)	札幌市との連携を強化し、札幌市の都市機能を活用した取組など、共に北海道全体の魅力を高める取組を実施する。	地域戦略課	0	734	734	1.3	6.8	8.1	63,784	①	改善(指標分析)		改善	
1310	0209	一般	地方創生対策推進費(地域連携推進費)	北海道地域振興条例の地域計画である「連携地域別政策展開方針」を振興局が中心となって推進する。また、各地域における先進事例を紹介する情報誌を発行する。	地域戦略課	0	4,426	4,426	1.8	9.6	11.4	93,164	①	改善(指標分析)		縮小	
1312	0209	事務	北海道地域振興条例及び市町村への職員派遣に関すること	条例に基づく地域振興に関する総合調整及び職員派遣推進方針の策定、地域振興に関する職員派遣制度の運用等	地域戦略課	0	0	0	0.8	1.8	2.6	20,238					
1404	0209	一般	知事の地域訪問	知事が地域を訪問し、市町村長や地域づくり実践者等との対話や懇談、先進事例の視察などを通して地域課題等を共有し、解決に向けた効果的・効率的な事業実施につなげることで、地域の特性や資源を活かした地域づくりを推進する。	地域戦略課	0	1,927	1,927	1.0	2.8	3.8	31,506					
1313	0209	事務	その他地域との調整に関すること	各地域の総合開発期成会窓口との連絡などを行う。	地域戦略課	0	0	0	1.3	4.3	5.6	43,590					
1401	0209	事務	総合調整等業務	職員の服務・研修、道議会事務、文書事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び各種会議、関与団体、後援依頼に関する事務	地域政策課	0	0	0	2.0	1.3	3.3	25,687					
1402	0209	一般	地域政策総合推進費(青函圏交流・連携促進費)	多様な主体による取組の裾野を更に広げながら、道南地域と青森県との交流・連携を推進する。	地域政策課	0	264	264	0.5	1.0	1.5	11,940	③	改善(指標分析)		改善	
1405	0209	一般	地域づくり推進費(地域づくり総合交付金)	市町村等が行う地域課題の解決や地域活性化を目的とした取組などに対し、総合振興局・振興局が交付金を交付する。	地域政策課	0	4,580,000	4,450,000	1.5	11.1	12.6	4,678,078	③	改善(指標分析)	【事務事業のコスト】 制度改正の成果を適宜把握し、引き続き、北海道創生総合戦略(地域戦略)の推進に資する事業への誘導を図るなど、より効果的な事業実施に取り組むこと。 財源の有効活用や交付金の充足率の向上の観点などから、制度の見直しに向けた関係団体との協議を確実に進めること。	拡充	今後とも制度改正の成果や北海道創生総合戦略(地域戦略)の推進に資する事業の状況を注視しながら、同戦略への誘導を図っていく。 また、市町村等に対しては、事業相談の機会を通じて適切な提案等を行い、本制度の効果的、効率的な執行に寄与する事業の実施を推進していく。
1406	0209	一般	地域づくり推進費(地域力向上サポート事業費)	多様な主体と連携しながらのサポート活動などを通じて、地域の主体的な取組を支援する。	地域政策課	0	552	202	0.6	1.5	2.1	16,898	①	改善(指標分析)		改善	
1409	0209	一般	地域づくり推進費(道内避難者心のケア事業)	避難生活の長期化に伴い、精神面や身体の不調を訴える避難者に対し、安心して避難生活を送れるよう、避難者の心のケアに向けた取組を推進する。	地域政策課	0	14,250	0	0.5	2.3	2.8	36,045					
1410	0209	一般	特定地域政策推進費(特定地域政策推進事業費)	条件不利地域の振興・発展、住民生活の安定を図るため、国の法律や制度に基づく各施策を実施する。	地域政策課	0	1,920	1,920	0.7	2.0	2.7	22,937	③	改善(指標分析)		改善	
1412	0209	一般	特定地域政策推進費(離島振興対策事業費補助金)	道内離島地域の本土とのプロパンガス価格は正のため、運送経費に対する助成を行い、離島地域住民の生活の安定を図る。	地域政策課	0	5,216	5,216	0.7	2.0	2.7	26,233	③	改善(指標分析)		改善	

令和4年度 事務事業評価調書

施策名 地域政策の推進

施策コード

0215

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
1413	0209	一般	特定地域政策推進費(地域社会維持推進交付金)	条件不利地域の振興・発展、住民生活の安定を図るため、特定有人国境離島地域住民に対する離島航路・航空路の運賃低廉化に対する助成を行う。	地域政策課	0	127,960	39,145	0.7	2.0	2.7	148,977	③	改善(指標分析)		改善	
1415	0209	事務	地域づくり総合相談に関すること	市町村や地域づくり活動を行う者からの多様な相談や要望に対応するための相談窓口を設置し、総合的な支援策の検討・助言、情報提供等を行う。	地域政策課	0	0	0	0.2	1.5	1.7	13,233					
1416	0209	事務	地域活性化事業の調整等に関すること	「地域経済循環創造事業交付金」など地域活性化事業に係る取組を推進するほか、各市町村が作成した事業計画等を取りまとめ、国へ提出する。	地域政策課	0	0	0	0.3	2.0	2.3	17,903					
1417	0209	事務	辺地振興対策に関すること	辺地法に基づく辺地計画を策定する市町村との協議などを行う。	地域政策課	0	0	0	0.3	1.7	2.0	15,568					
1418	0209	事務	総務省・国土交通省所管の地域づくり業務に関すること	国土交通省及び総務省が実施する補助事業の申請書の取りまとめ、点検等を行う。	地域政策課	0	0	0	0.2	2.2	2.4	18,682					
1419	0209	事務	北海道遺産構想の推進	「NPO法人北海道遺産協議会」と連携して北海道遺産のPR等を行い、構想の理念の定着を図る。	地域政策課	0	0	0	0.3	1.9	2.2	17,125	③	改善(指標分析)		改善	
1420	0209	事務	(一財)地域活性化センター及び(一財)自治総合センター業務に関すること	本センターが行う各種助成や情報発信事業に係る市町村等からの申請に対して確認や選考を行うほか、センターとの連絡調整を行う。	地域政策課	0	0	0	0.2	2.4	2.6	20,238					
1421	0209	事務	東日本大震災による被災地への支援に関すること	東日本大震災に係る被災地の一日も早い復旧・復興に向け、市町村や関係団体等と連携し、被災地、被災者に対する支援を行う。また、被災地からの避難者の支援を行う。	地域政策課	0	0	0	0.5	1.5	2.0	15,568					
1422	0209	一般	ほっかいどう地域づくりチャレンジャーネットワーク推進事業費	道内各地で意欲的に地域づくりにチャレンジしている方々を支援し、業種や地域を越えた重層的なネットワークづくりを推進する。	地域政策課	0	6,731	6,731	1.5	1.5	3.0	30,083	③	改善(指標分析)		終了	
1423	0209	一般	地方創生対策推進費(北海道恐竜・化石プロモーション事業)(創生交付金)	恐竜・化石を活用し、地域の活性化を図るため、その価値や魅力を発信するとともに、道内各地域の展示施設等への訪問を促進する取組を実施する。	地域政策課	0	1,000	327	0.3	0.5	0.8	7,227	①	改善(指標分析)		終了	
1424	0209	一般	地方創生対策推進費(北海道ヘリテージ活用推進事業)(創生交付金)	道内各地域の「日本遺産」及び「北海道遺産」を有効活用し、地域活性化を図るため、関係協議会等と一体となって魅力の発信を行う。	地域政策課	0	806	567	0.3	0.5	0.8	7,033	①	改善(指標分析)		終了	
1426	0209	一般	地方創生対策推進費(北海道ジオパーク魅力発信コラボ事業)(創生交付金)	道内各地域のジオパークを活用し、地域の活性化を図るため、関係協議会と一体となって魅力の発信を行う。	地域政策課	0	916	668	0.6	0.5	1.1	9,478	①	改善(指標分析)		終了	
1311	0209	一般	地域づくり推進費(自転車活用等促進事業)	「北海道自転車条例」に掲げる基本施策を計画的かつ総合的に推進する。	地域政策課	0	12,990	6,990	1.8	0.3	2.1	29,336	③	改善(指標分析)		改善	
1425	0209	一般	胆振東部地震災害復興支援推進費	胆振東部地震からの本格的な復旧・復興に向けて、被災地や国・関係機関との連携・調整	地域政策課	0	2,696	2,696	1.8	0.4	2.2	19,821	③	改善(指標分析)		改善	
1304	-	一般	ほっかいどう応援団会議運営事業費	「ほっかいどう応援団会議」を通じ、北海道の活性化に向けた取組を推進する。	官民連携推進室	0	12,145	12,145	4.0	0.0	4.0	43,281	②	改善(指標分析)		拡充	
1403	-	一般	官民連携推進事業費	ふるさと納税の利便性の向上に取り組むとともに、道独自で新たに返礼品の贈呈や内外にふるさと納税のPRを実施する。	官民連携推進室	0	249,090	249,080	4.0	0.0	4.0	280,226	②	改善(取組分析)		改善	
1315	0211	一般	官民連携北海道応援フェア事業(創生交付金)	北海道の魅力や北海道への関わり方の情報提供を行う「ほっかいどう応援フェア」を開催するとともに、地域のニーズと地域との関わりに興味・関心を持つ札幌市民とを関係人口としてつなぐ仕組みを構築する。	地域政策課	0	1,943	1,502	0.8	0.8	1.6	14,397	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	終了	
1408	0211	一般	地域づくり推進費(北の大地への交流・定住促進事業)	北海道への移住・定住の促進を図るため、地域の受入体制づくりへの支援や情報発信等の取組を実施するほか、地域おこし協力隊の定住定着支援を実施する。	地域政策課	0	2,252	2,252	11.0	3.3	4.3	35,723	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	改善	市町村・関係団体と連携した受入体制強化のための勉強会や首都圏等でのPRを積極的に

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	地域政策の推進	施策コード	0215
----------------	-----	---------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性			
1309	0211	一般	地方創生対策推進費(北海道型ワーケーション普及・展開事業費)(創生交付金)	新たな働き方として注目されるワーケーションの取組を拡充し、関係人口の創出・拡大を図る。(ワーケーションPR・プラン磨き上げ・推進協議会等の開催など)	地域政策課	0	10,363	5,661	1.5	2.0	3.5	37,607	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	終了	実施するほか、地域おこし協力隊をはじめとした地域の活性化を担う人材の確保及び研修会・交流会といった定住・定着に向けた支援の充実・強化を図ることなどにより、地方への人の流れを作り出し、地域力を強化していく。
1430	0211	一般	北海道移住受入体制強化事業(創生交付金・臨時交付金)	道内への移住者の増加を図るため、移住受入体制の強化を図るとともに、道内市町村を対象にオンライン等を活用したPR手法の研修を実施する。	地域政策課		24,651	10,164	1.2	1.0	2.2	41,776	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	改善	
1431	0211	一般	北海道とつながるカフェ事業(臨時交付金)	首都圏の若年層や子育て世代を対象としたプロモーションやイベント開催により、関係人口の創出・拡大を図る。	地域政策課		13,922	0	1.5	0.8	2.3	31,825	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	終了	
計						0	5,366,934	4,948,245	45	85	130						